

- 問1 景気が悪化して企業の生産活動や個人の消費が停滞している際、日本銀行は市場に流通する通貨の量を増やして景気を上向かせようとする「金融政策」を行います。このとき実施される「公開市場操作（買いオペレーション）」の具体的な内容として正しいものはどれですか。 （2025年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 日本銀行が民間銀行から国債などを買い取り、その代金として市場に資金を供給する。

2. 日本銀行が預金準備率を引き上げ、民間銀行が企業へ貸し出せる資金を制限する。

3. 日本銀行が新しい通貨の発行を停止し、円の価値を強制的に高める操作を行う。

4. 日本銀行が所有する国債を民間銀行に売り、市場から資金を吸い上げる。
- 問2 銀行の仕組みにおいて、預金者、銀行、企業の三者の間で流れる「利子」の関係について、正しい説明を選びなさい。 （2023年 和歌山県公立入試 類似）
1. 銀行が預金者に支払う利子は、銀行が企業から受け取る利子よりも多い。

2. 銀行は預金者に対して利子を支払わず、企業から受け取る利子のみで運営される。

3. 銀行が企業から受け取る利子は、銀行が預金者に支払う利子よりも多い。

4. 銀行は、企業から受け取った利子の全額を、そのまま預金者に分配する。
- 問3 銀行と、預金を行う家計、および資金を借りる企業との間で行われる利子のやり取りにおいて、銀行が利益を得るための条件として適切なものはどれですか。 （2024年 神奈川県公立入試 類似）
1. 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。

2. すべての利用者が一定の預金を行うことで、銀行が利子を支払う必要がなくなること。

3. 家計が銀行から受け取る利子が、企業が銀行に支払う利子よりも多く設定されていること。

4. 景気が悪化した際に、銀行が貸出金利と預金金利の差をなくして資金の流動性を高めること。
- 問4 金融の仕組みにおいて、銀行などの金融機関を介さずに、企業が証券市場を通じて家計などから直接資金を調達する方式を何というか、名称を答えなさい。 （2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 間接金融

2. 公的金融

3. 直接金融

4. 消費者金融
- 問5 インフレーションとは逆に、物価が継続的に下落し、貨幣の価値が上がっていく現象をデフレーションと呼びます。デフレーションが進行し、企業の利益減少が賃金カットや失業を招き、それによって消費がさらに冷え込んで物価が下がるという悪循環を何と呼びますか。 （2024年 北海道公立入試 類似）
1. バブル経済

2. スタグフレーション

3. 円安ドル高

4. デフレ・スパイラル
- 問6 日本銀行が公開市場操作において、民間金融機関から国債を買い入れる政策を実施した場合、その後の経済への影響として期待される因果関係の説明として正しいものはどれですか。 （2024年 香川県公立入試 類似）
1. 市場の通貨量が減ることで、物価の上昇が抑えられ、企業の過剰な在庫投資が抑制される。

2. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が低下し、企業の設備投資が活発になる。

3. 市場の通貨量が減ることで、通貨の価値が上がり、輸入品の価格が下がることで消費が拡大する。

4. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が上昇し、国民の預金意欲が高まる。
- 問7 日本の中央銀行である日本銀行は、その役割から「銀行の銀行」や「政府の銀行」と呼ばれています。日本銀行が直接、資金の貸し借りや預金の受け入れといった取引を日常的に行う対象として、最も適切な組み合わせを選びなさい。 （2024年 静岡県公立入試 類似）
1. 民間の金融機関と政府

2. 外国の個人投資家とNPO法人

3. 地方の工場と商店街

4. 一般の企業と家計（個人）
- 問8 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気を刺激するために、民間の金融機関との間で行う「買いオペレーション」の仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 （2024年 香川県公立入試 類似）
1. 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れ、代金を支払うことで市場の通貨量を増やす。

2. 日本銀行が各金融機関の預金準備率を引き上げることで、銀行が貸し出せる資金の量を制限する。

3. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、公共事業のための予算を増やすことで消費を促す。

4. 日本銀行が民間金融機関に国債などを売却し、代金を回収することで市場の通貨量を減らす。
- 問9 企業が事業資金を集める際、銀行などの金融機関を介さずに、株式や社債などを発行して家計などの資金の出し手から資金を集める仕組みを何と呼びますか。 （2026年 徳島県公立入試 類似）
1. 間接金融

2. 直接金融

3. 現物取引

4. 信用創造
- 問10 日本の金融システムにおいて、銀行が家計から預金を集め、それを企業や個人へ貸し出すことで利益を得る仕組みについて、最も適切な説明を選びなさい。 （2016年 千葉県公立入試 類似）
1. 中央銀行から無利子で借り入れた資金をそのまま企業に貸し出し、企業からの寄付金を主な利益としている。

2. 預金の利子率と貸し出しの利子率は法律で同等に定められており、銀行は仲介手数料のみを利益としている。

3. 家計に支払う預金の利子率を、企業などへ貸し出す際の利子率よりも高く設定することで、預金者を増やす工夫をしている。

4. 家計に支払う預金の利子率を、企業などへ貸し出す際の利子率よりも低く設定することで、その差額を利益としている。
- 問11 私たちは、必要なものをすべて自分で作る「自給自足」の生活ではなく、他者が生産した物やサービスと自分の持つものをやり取りすることで生活しています。このような交換を円滑に行うために貨幣が担っている、商品の価値を共通の物差しとして数値化する役割を何といいますか。 （2023年 兵庫県公立入試 類似）
1. 価値の保存

2. 流通の強制

3. 価値の尺度

4. 支払いの手段
- 問12 日本銀行が実施する「売りオペレーション」と呼ばれる政策において、日本銀行と民間金融機関の間で行われる具体的なやり取りと、その直接的な効果を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。 （2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 日本銀行が国債を「発行」し、日本銀行がそれを直接引き受けることで、市場の通貨量を「一定」に保つ。

2. 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。

3. 民間銀行が国債を「売り」、日本銀行から通貨を受け取ることで、市場の通貨量を「増加」させる。

4. 日本銀行が国債を「買い」、民間銀行へ通貨を支払うことで、市場の通貨量を「増加」させる。
- 問13 日本銀行が紙幣（日本銀行券）を独占的に発行する役割を、何と呼びますか。最も適切なものを1つ選びなさい。 （2025年 熊本県公立入試 類似）
1. 市中銀行

2. 銀行の銀行

3. 発券銀行

4. 政府の銀行